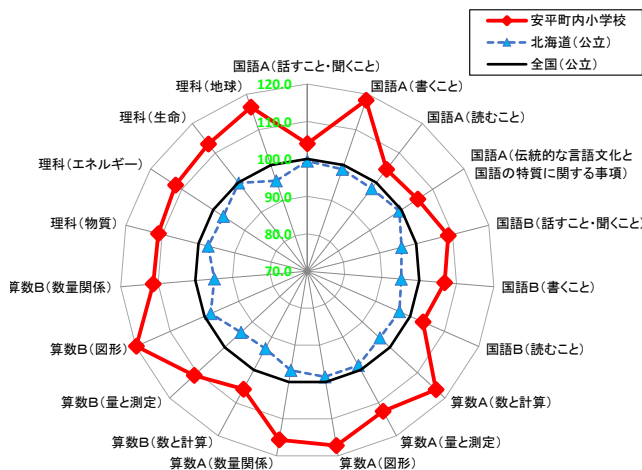


■安平町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:55人)

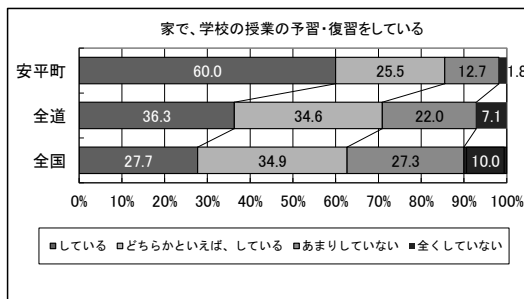
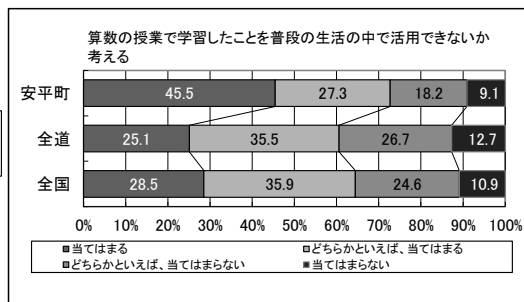
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

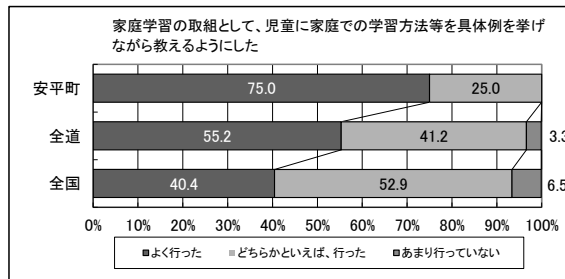
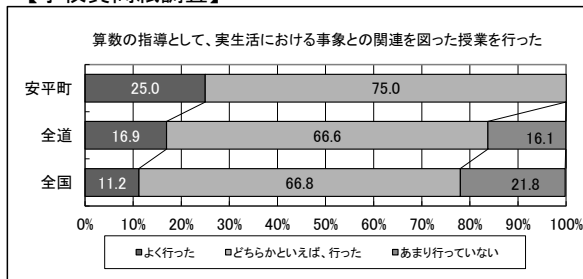
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教科において、全国を上回っている。 ○ 国語A・Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数A・Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 理科では、全ての領域で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が、算数の授業において、実生活における事象と関連を図った指導の工夫を行ったことにより、児童は、算数で学習したことを普段の生活の中で生かそうとするようになり、成果が上がっていると考えられる。 ○ 学校が、家庭での学習方法を具体例を挙げながら指導したことにより、児童は、家庭学習で授業の予習・復習に主体的に取り組むようになり、学力の定着が図られていると考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【安平町の学力向上策】

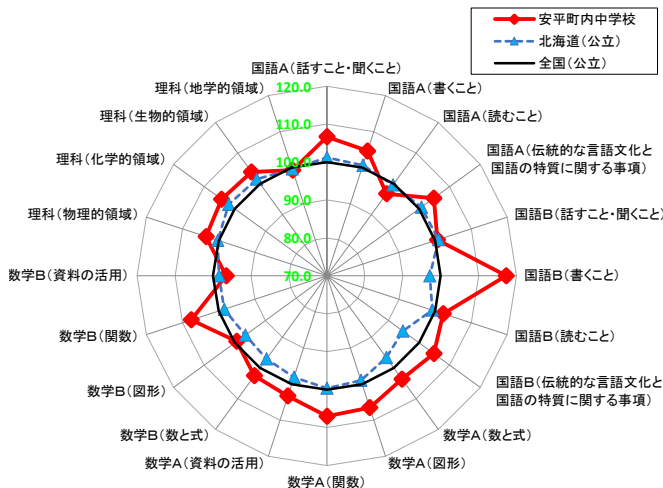
- ◎ 学校改善推進委員会における、全国学力・学習状況調査結果の早期の分析、課題の洗い出し、学力向上や指導方法の工夫改善につながるまとめの作成
- ◎ 習熟度別指導、個に応じた指導、少人数、T・Tなど様々な形態での指導による基礎学力の向上
- ◎ 校種間や同校種間相互の授業研究、連携や一貫教育、習熟度別指導方法の研究、指導方法の工夫改善に向けた体制の構築
- ◎ 義務教育9年間を見通した学習規律の確立、家庭学習習慣の定着

■安平町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:64人)

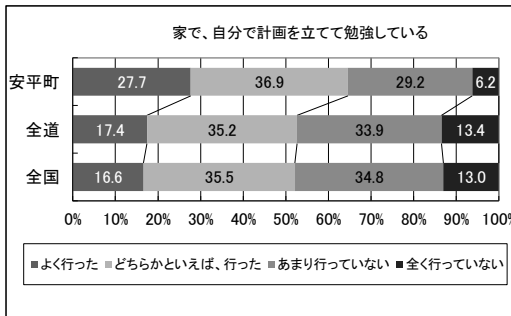
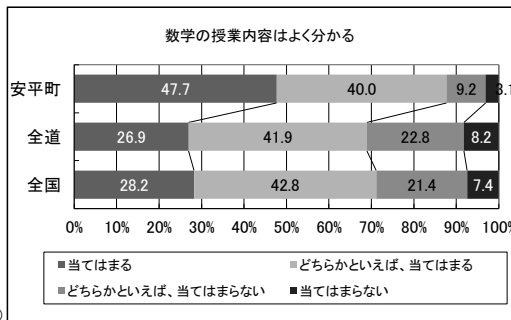
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

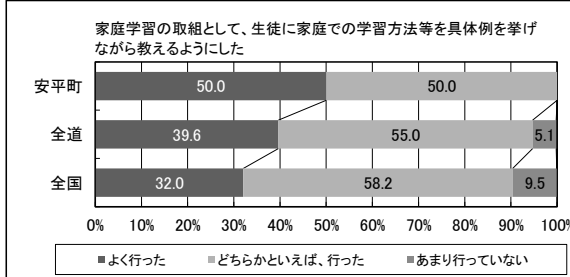
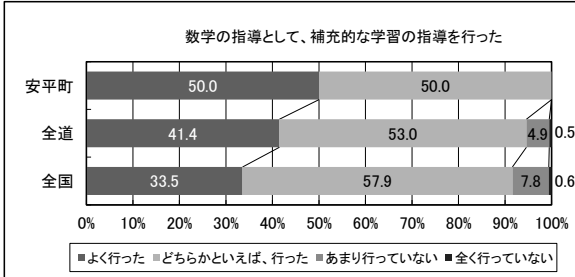
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教科において、全国及び全道を上回っている。 ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Aでは、全ての領域で、Bでは、「数と式」「関数」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」で全国及び全道を上回っている。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の授業内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。

【安平町の学力向上策】

- ◎ 学校改善推進委員会における、全国学力・学習状況調査結果の早期の分析、課題の洗い出し、学力向上や指導方法の工夫改善につながるまとめの作成
- ◎ 習熟度別指導、個に応じた指導、少人数、T・Tなど様々な形態での指導による基礎学力の向上
- ◎ 校種間や同校種間相互の授業研究、連携や一貫教育、習熟度別指導方法の研究、指導方法の工夫改善に向けた体制の構築
- ◎ 義務教育9年間を見通した学習規律の確立、家庭学習習慣の定着